

令和5年度広島県児童虐待防止(オレンジリボン)キャンペーン事業業務  
公募型プロポーザル選定委員会議事要旨

項 目		内 容
1	日 時	令和5年8月2日(水) 13時00分から16時00分まで
2	場 所	オンライン会議(ZOOM)にて実施
3	出席委員	広島市こども未来局こども・家庭支援課長 公益財団法人ひろしまこども夢財団事業課長 総務局広報課長(代理出席) 健康福祉局こども家庭課長 西部こども家庭センター次長 東部こども家庭センター所長 北部こども家庭センター所長
4	議 題	提案書の審査及び最優秀提案者の決定について
5	担当部署	健康福祉局こども家庭課
6	開催方法	参集(オンライン)
7	議事内容	<p>提出された提案書を基に、プレゼンテーションによる審査を行い、最も得点が上位の提案者を最優秀提案者として選定した。</p> <p>1 提案者(最優秀提案者:◎)</p> <p>A社:株式会社みづま工房(◎)</p> <p>B社:株式会社中国四国博報堂</p> <p>C社:株式会社明宣社</p> <p>D社:株式会社トマトコーポレーション</p> <p>E社:讀賣連合広告社広島支社</p> <p>2 各委員の主な評価・選定理由</p> <p><b>【A社:株式会社みづま工房】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メッセージ毎にランディングページを分けているのが良い。</li> <li>・キーワードである「どしたん?」は好感が持て、今後も使いやすいと感じた。</li> <li>・コンセプトがしっかり考えられており、デザイン案もキャッチーであるが、効果測定は改善が必要と思われる。</li> </ul> <p><b>【B社:株式会社中国四国博報堂】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自由提案での小学生をターゲットとした企画が具体的に示されており、良かった。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広告の設計やシミュレーションは良いが、それぞれのメッセージに対して専用ランディングページのイメージがないのが残念。</li> <li>・SNS等の広告期間が長く効果測定も詳細だが、全体的に訴求力が弱いと感じられた。</li> </ul> <p><b>【C社：株式会社明宣社】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的に県民に対して、何をすればよいのか、行動するとどうなるのかを伝えるというコンセプトが良かった。</li> <li>・方向性についてはよく検討されているが、全体的に硬い印象で、閲覧したいと思える内容になるのか疑問がある。</li> <li>・こども向けのホームページコンテンツは重要な視点だが、こどもが興味を持って読むには難しく感じた。</li> </ul> <p><b>【D社：株式会社トマトコーポレーション】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ランディングページがターゲットごとにわかりやすく作成されており、子育てイベントなど事業者のノウハウやターゲットを意識した提案もあり評価できる。</li> <li>・インスタグラムでの情報発信は、フォロワー数の獲得が難しいと感じる。</li> <li>・コンテンツのリアルボイスは良いと思うが、関心のある層に届くものができるかについては工夫が必要だと感じる。</li> </ul> <p><b>【E社：讀賣連合広告社広島支社】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メープルカイザーをイラストで活用する案は良く、イラストも秀逸。</li> <li>・こどもへの広報として、アドボカシーをメインにする案は良い。</li> <li>・オフラインの提案は充実しているが、ウェブ広告にももう少し力を入れてほしい。予算も少ないと感じた。</li> </ul>
--	---